

令和5年度実施分

※市民の声対応は5.1時点

- 1. スマイル・トークリレー「FLAT」とは P. 1
- 2. 実施状況 P. 1
- 3. 実施一覧 P. 2
- 4. 対話で描くまちづくり P. 4
- 5. 実施団体別主な内容 P. 6
- 6. 「市民の声」として対応 P.34

令和 6年 5月

政策推進部市民連携課

1. スマイル・トークリレー「FLAT」とは

山本市長が公約として掲げる、「対話の文化で描くまちづくり」実現のための事業であり、市長と市民の皆様が「FLAT(目線を同じく・対等な立場)」に対話を重ねる事業。

令和5年4月に市長就任後すぐに事業開始。5月の町内会との実施を皮切りに、対象は市内に在住、または通勤・通学する方、活動・事業を営まれる方など、概ね10人以上で構成させる団体等。

令和6年5月現在 44団体と実施済み。町内会のほか、様々な団体からお申し込みいただき、継続して実施する予定。

山本市長発言 (R5.9月議会)

○「FLAT」を実施しての所感…

「市民の皆様はやさしさに触れ合う時間になっています。多くの市民の皆様との対話を通じて、市民の皆様がむつ市のことを思い、家族のことを思い、町内のことを思い、そして私の身体のことまで気遣ってくれる市民の方がいることに気づきました。そして、市民の皆様から課題や現状を伺うだけではなく、むつ市政を直接市民の皆様にお伝えする場にもなっていると感じています。(中略) 今後も、市民の皆様との対話を通じて市の課題解決の糸口を探るなど、市民協働によるまちづくりに向け、継続して取り組んでまいります。」

2. 実施状況 (アンケート実施団体のみ集計)

■ 参加者数等

44団体 703人 (うち、アンケート実施 42団体 675人)

(人)

	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	未回答	合計
男性	6	5	8	12	26	61	102	45	2		267
女性	6	5	2	10	18	51	145	52	2	1	291
合計	12	10	10	22	44	112	247	97	4	1	559

■ 参加者の感想

アンケート回答率 83% (559人/675人中)

※実施団体ごとに設問が異なるため設問ごとに回答率は異なる

○参加されてどうでしたか？

1. 有意義…518人 2. 期待外れ…4人 3. どちらとも言えない…20人 4. 無回答…17人

○次回も参加したいですか？

1. 参加希望…476人 2. 参加しない…14人 3. どちらとも言えない…55人 4. 無回答…14人

3. 実施一覧

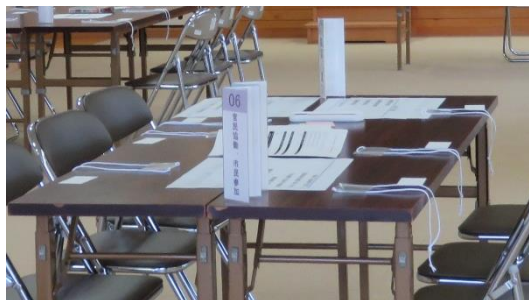
No.	月日	曜日	団体名	参加者数	ページ
第1回	5月27日	土	大平町内会	28人	P.6
第2回	5月29日	月	城ヶ沢町内会	9人	〃
第3回	6月22日	木	北関根町内会	25人	P.7
第4回	6月24日	土	緑ヶ丘町内会	30人	P.8
第5回	6月26日	月	田野沢地区会	18人	P.9
第6回	6月26日	月	浜町町内会、瀬野部落会、新井田部落会、 寄浪部落会、蛸田部落会	10人	〃
第7回	6月27日	火	湯野川町内会	16人	P.10
第8回	7月2日	日	赤川町内会、木野部町内会	26人	〃
第9回	7月7日	金	大室平町内会	23人	P.11
第10回	7月8日	土	大湊浜町町内会	20人	〃
第11回	7月19日	水	明の星短期大学むつキャンパス	9人	P.12
第12回	7月22日	土	南松町内会	17人	〃
第13回	7月22日	土	角違町内会	14人	P.13
第14回	9月15日	金	栗山町内会	18人	P.14
第15回	9月27日	水	栄町町内会、住吉町内会、 昭和町A町内会	15人	P.15
第16回	10月10日	火	しゃべり場	10人	P.16
第17回	10月16日	月	むつ総合病院看護局	19人	P.17
第18回	10月22日	日	斗南岡町内会、最花町内会	23人	〃
第19回	10月24日	火	本町町内会(大畑町)	10人	P.18
第20回	10月24日	火	孫次郎間町内会	32人	P.19
第21回	10月26日	木	中島町内会	15人	P.20
第22回	10月31日	火	シニアサポートむつ	48人	P.21
第23回	10月31日	火	川守町町内会	24人	P.22
第24回	11月8日	水	青森大学むつキャンパス	18人	〃
第25回	11月11日	土	宇田町町内会	20人	P.23

第26回	11月18日	土	町内会長	50	人	P.24
第27回	12月14日	木	青森県保育連合会むつ支部	13	人	P.25
第28回	2月23日	金	苫生町町内会	17	人	P.26
第29回	2月23日	金	海老川町青葉会	16	人	P.27
第30回	3月2日	土	銀杏木地区会	26	人	P.28
第31回	3月9日	土	新女館町内会・女館高台町内会	12	人	P.29
第32回	3月14日	木	新町町内会	25	人	P.30
第33回	3月19日	火	横迎町町内会	14	人	P.31
第34回	3月20日	水	中央町内会	12	人	P.32
第35回	3月20日	水	松山町内会	21	人	P.33
合 計			44団体(36町内会、5団体、2校、1町内会長)	703	人	

4. 対話で描くまちづくり

スマイル・トークリレー「FLAT」当日の流れ(町内会 Ver.)

■1. 参加者は6つの公約のうち最も興味のある公約のテーマのテーブルに着席



■2. 「公約」をキーワードに、実現のためには何が必要となるかをテーブル内で意見交換

市民同士をつなぐ「対話」!!



「町内の人とのコミュニケーションの場としても、とても有意義な時間だった。」



「悩み事を周りの人と共有し、共感してもらえて嬉しかった!」



「普段聞けない町内の人たちの困っていることを聞くことが出来て良かったなあ。」

市長も各テーブルで「対話」!!



■3. 各テーブルの発表者がテーブル内の意見を発表

市長と市民をつなぐ「対話」!!



フラットな目線で
意見を交わしあう



■4. 市の未来に必要なものとは?

対話からうまれる解決の糸口...

高齢者福祉・医療

町内会の老人クラブの活動にもっと人を勧誘できたら、認知症予防や健康長寿につながりそう。

子育て・教育

市から子ども会や育成会に補助金を支給する等、活動しやすい環境整備の仕組みがあれば地域の活性化に繋がるのでは。

高齢者福祉・医療

おつ病院の予約がすぐに埋まってしまう。オンライン診察が可能な体制を整えられたらみんな受診しやすくなるかも。

行政サービス・デジタル化

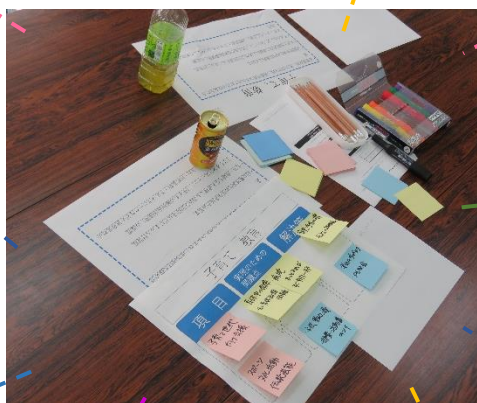
子どものランドセルが重すぎるので、タブレット1枚で学校に通えるくらいデジタル化が進んでいったらいいのに。

経済対策

高齢者や移動が不便な地域向けに、スーパーやコンビニの出張販売を実施して買い物の支援をするべきだと思う。

防災・減災

災害時は市や民生委員とタイアップして、町内会で高齢者の支援や手助けをしてみるのはどうだろうか。



行政サービス・デジタル化

デジタルサービスについていけない高齢者のために、操作方法や手続きの仕方をわかりやすく教えるような支援が必要だね。

市民参加・市民との連携

市民の意見を届ける場として、このスマイル・トークリレー「FLAT」をこれからも継続してやって欲しい。

子育て・教育

学校にエアコンを設置して、子どもたちの環境を整えたい。

5. 実施団体別主な内容

■第1回 5/27 大平町内会

場 所:大平集会所

参加者:20代~90代の町内会員 28名

<主な内容>



	参加者から	市長から
子育て 教育	育児休暇中の補償の必要性	育児手当の増や、企業への補助のシステムも研究したい。
	子どもの人数が少なく、部活動の維持が困難	子育て政策に力をいれたい。おつ☆かつて、やりたいスポーツができ、学校は育った街で通うのが理想。
	小児科が少なく、予約が取りづらい	子育て支援アプリ活用し、オンラインでの相談もぜひ利用してほしい。
地域の 安全	災害時の伝達手段(防災無線)の必要性	携帯のアラームを聞いたら、まずは高台に逃げることをお願いしたい。デジタル防災無線への移行後の、町内での伝達手段については、他自治体のやり方も参考に研究したい。
福祉 医療	医療機関が少なく、待ち時間が長い。	完全予約制の案、オンライン診療や、予約制等様々な研究をしていきたい。
行政 サービス	買い物や、病院への移動手段 移動販売車の導入	様々な意見を聞きながら研究していきたい。

➤ そのほか、自主防災組織の立ち上げや、老人クラブや子ども会とも積極的に連携していくことで、町内を元気にしていきたいとの思いを、町内会の皆さまから聞かせていただいた。

➤ 「市民の声」として持ち帰り…1件



■第2回 5/29 城ヶ沢町内会

場 所:城ヶ沢集会所

参加者:60代~80代の町内会員 9名

<主な内容>

	参加者から	市長から
子育て 教育	給食費無償化の必要性	国や県の動きもあるが独自で無償化も考えたい。ただ、様々養育費や教育費が無償化される中、0歳児から2歳児への経費負担について補助がない。生みたい気持ちを醸成するにはどちらが適切か検討していきたい。

	参加者から	市長から
暮らし 経済	給料が少ないことを理由に、むつ市から転出する人がいるため、対策をして欲しい。	賃金の向上は重要なことではあるが、企業に負担を強いることにもなりかねず、例えばむつ市に住みながら県外の仕事ができる状況を作るなど、対策していきたい。
地域の 安全	バスの本数が少なく、待ち時間が多いため、公共交通以外で、事業者等との連携で何かあればよいと思う。	公共交通機関との兼ね合いを模索する必要もあるが、例えば川内で実施しているデマンド型交通などを拡げるなど検討していく。
市民 参加	若者が遊ぶ場所がなく出会う場所も限られていることから、少子高齢化対策として、出会いの場を作るのはどうか。	今の若年層はマッチングアプリ等で出会うことが多いようなので、遊び場提供の重要度が下がってきている。また、例えば TDL という人気施設はほとんど地方の人が行く。遊ぶのは都会、住むのは地方という考えもあると思う。

- そのほか道路状態の具体的な要望もあり。また、男女の出会い方の時代の変化について対話が盛り上がった。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・なし



■第3回 6/22 北関根町内会

場 所:北関根集会所

参加者:40代~90代の町内会員 25名

<主な内容>

	参加者から	市長から
子育て 教育	通学や、むつ☆かつ用のバス停の整備	バス停は整備します。子ども達が地元の学校に通いながら、希望の活動をしていけるような仕組み作りとして進めていきたい。
	各学校でご飯炊くなど、おいしい給食を食べさせたい。	関根中学校の跡地に給食センターができる予定。あたたかく、おいしいものを届けられるようにしたい。
暮らし 経済	節電を徹底しているが賄いきれない。支援を要望する。	住民税非課税世帯に 36,000 円分の商品券を配る施策や、子育て世帯に一人あたり 6,000 円分の商品券を配る施策を実施する。
	サルの被害が増えてきている。檻や電気柵の設置が必要だと思う。	サルに関しては、関根と大畑に捕獲用の大型の網を設置したり、散弾銃の音が出るドローンを飛ばしたりと新しいことをやっている。これからも対策を考えていきたい。

	参加者から	市長から
医療 福祉	施設への入所が困難。関根地区にも施設があればいいなと思う。	施設を建設することは、皆さんが支払う介護保険料の増額に繋がるため、バランスをとるようにしている。今は健康教室に力を入れ、皆さんが長生きできるようにしたい。病院の待ち時間も少なくなるように努めます。また、条件はあるもののおむつ等介護用品の支援も行っている。
	近隣で買い物ができない。移動販売車や、muveなどが、離れた場所まで来てくれれば。	移動販売車については民間事業者等と連携を考えたい。 moveの走行経路は、公共交通機関とうまく調整していきたい。
	健康教室など、旧むつ市内だけの施策にならないようにしてほしい。	旧むつ市内以外でも健康教室を実施します。 むつ市の女性の平均寿命が全国の中でワースト5位になってしまったことを受け、7月からは特別チームを編成し、対策等を考えていきたい。
市民 参加	地域行事に人が集まらない。どうしたら良いのか悩んでいる。	いろいろな取り組みで人を集められるようにしたい。 必要があれば市長を呼んでいただきたい。 また、遊休農地の利活用による地域活性化も考えており、今はマップを作成している。今後は貸出等により有効活用出来るように取り組みを進めている。

➤ 「市民の声」として持ち帰り・・・2件

■第4回 6/24 緑ヶ丘町内会

場 所:緑ヶ丘コミュニティセンター あじさい館

参加者:20代~80代の町内会員 30名

<主な内容>



	参加者から	市長から
暮らし 経済	農産物の流通について	まずは下北半島縦貫道の早期完成を目指し、またその後は終点への道の駅の構想もある。
	市そのものの知名度や、農産物の知名度が低いと思う。	シンガポール国立大学の学生さんたちが、知名度を上げる方法を考えてくれている。
医療 福祉	移動販売車を実施してほしい	市で検討していきたい。
行政 サービス	デジタル化についていけるか不安を感じている	誰一人取り残されないように努める。

- 開催後、参加者から情報提供のあった危険箇所を視察。大雨で氾濫が起きやすい用水路を確認。
- 自主防災組織の必要性の話になり、町内会長からすでに立ち上げている旨説明があり。町内会の中での情報共有の良い機会になった。
- 「市民の声」として持ち帰り…3件



■第5回 6/26 田野沢地区会

場 所:田野沢公民館

参加者:50代~80代の町内会員 18名

<主な内容>

	参加者から	市長から
子育て 教育	学校に行けない子の対策・環境づくりをしてほしい	学校に行けない子たちが集える場を増やしていきたい。
地域の 安全	消防団車両が老朽化しているため早期に更新してほしい	順番に実施しており、今後も補助金を利用しながら整備を継続していく。
	消防団員の定年を上げた方が 良いと思う	そういったお声が多いのであれば、検討が必要だと思う。

- そのほか、田野沢公民館の避難所としての利活用について対話を重ねた。
- スマイル・トークリレー「FLAT」のオンライン開催を希望する声があがっていた。
- 「市民の声」として持ち帰り…なし

■第6回 6/26 合同開催(脇野沢地区5団体)

場 所:脇野沢地域交流センター

(脇野沢浜町町内会、瀬野部落会、新井田部落会、
寄浪部落会、蛸田部落会)

参加者:70~80代の町内会員 10名

<主な内容>



	参加者から	市長から
暮らし 経済	脇野沢に人を呼ぶのに苦勞をしている。	市においてもPRの努力をしていきたい。
	マリンビーチを広くして欲しい。	綺麗にしていきたい。市全体を考えながら検討していく。
医療 福祉	むつ病院の新設に伴い、脇野沢方面の病院がなくなるようにしてほしい。	新設に伴う医師の再配置については、県にもしっかり要望をしていきたいと思う。

- はじめての合同開催であったが、参加者同士の対話も活発に行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り…3件

■第7回 6/27 湯野川町内会

場 所:湯野川公民館

参加者:60~80代の町内会員 16名

<主な内容>



	参加者から	市長から
地域の安全	猿の被害(食害)に困っている	ドローンでも対策をしていく。皆様からも何か良い方法があれば、伺い検討していきたい。
医療福祉	デマンド型タクシーの予約がなかなか取れない	運転手不足が常態化している。運転手を増やすよう取り組んでいきたい。

- 「FLAT」開催に合わせて、湯野川温泉濃々園の整備について、観光 CP 課より説明会を実施。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・6件

■第8回 7/2 合同開催(大畑地区2団体)

場 所:赤川公民館(赤川町内会、木野部町内会)

参加者:50~80代の町内会員 26名

<主な内容>



	参加者から	市長から
地域の安全	防災無線の難聴地域対策	新しい防災無線を整備中
	災害時に食料が行き渡らないことがあったため対策を。	各スーパーと協定を結んだり、給食センターから供給できるようにする等体制を整えていく。 災害時は9,000食供給できるようになる予定。
	海岸沿いのロープや網の漂着、また川の濁りも消えていない。	そのような場合は、大畑庁舎に連絡してほしい。県民局に問い合わせるなど対応していく。 また、漂着資材を例えばリサイクルしてランドセルにするなど、研究していきたい。
医療福祉	病院の地区整備や医師の充実	医師がむつ市に来ってくれるようお願いはしていくし、医学生の学費支援をしてむつ市に戻ってくるような予算も考えていきたい。
	免許や車のない高齢者の交通手段を考えてほしい。	買い物支援や、移動手段を市において取り組みたい。
	オンデマンドタクシーや小さいバスなど。 バスの本数が少なく、介護者を利用して多額の費用がかかる。	バスの運行ルート等、各交通事業者とも協議していく。
	むつ病院の待ち時間が長い。	病院の建て替えや、デジタル化で改善していきたい。

- 佐助川小学校のグラウンドの金網が外れていて危険との事で現地確認。危険回避のため対応済み。
- その他、地域でゴミ拾いを長年している人に市から何かできないか等、対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・4件



■第9回 7/7 大室平町内会

場 所:大室平地区学習施設

参加者:40~90代の町内会員 23名

<主な内容>

	参加者から	市長から
地域の安全	道路の幅が狭いので拡げられないか	すれ違い場を活用してほしい
	信号機がほしい	県に相談してみます。
医療福祉	免許返納後の対策として、バスを通してほしい	市での対応も検討が必要だが、公共交通事業者との調整が必要
	移動販売車を実施してほしい	買い物支援バスのような仕組みをつくっていきたい。

- そのほか、むつ病院の人材育成や、民生委員のなり手不足について対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・なし



■第10回 7/8 大湊浜町町内会

場 所:中央公民館

参加者:40~代の町内会員 20名

<主な内容>

	参加者から	市長から
子育て教育	むつ☆かつでは、チームでのスポーツ大会に出られない場合がある	むつ☆かつは、子どもたちが希望するスポーツのために地域から出てしまうことを防ぐ目的もある。御理解いただきたい。
	通学路の横断歩道の線が消えて信号機がほしい	県に相談してみます。
医療福祉	免許返納後の対策として、バスを通してほしい	市での対応も検討が必要だが、公共交通事業者との調整が必要
	移動販売車を実施してほしい	買い物支援バスのような仕組みをつくっていきたい。

- そのほか、むつ病院の人材育成や、民生委員のなり手不足について対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・1件

■第11回 7/19 青森明の星短期大学むつキャンパス

場 所:青森明の星短期大学むつキャンパス

参加者:10~20代の学生 9名

<主な内容>

テーマ:あなたが思う「住みたいむつ市」について考えよう

- 市長が市長と学生が「住みたいむつ市」について対話
- むつ市長自らがファシリテーター(進行役)を務める
- 学生からは、交通手段や娯楽施設の充実、イベント等により地域に活気がある街を望む声が多数



■第12回 7/22 南松町内会

場 所:南松町内会集会所

参加者:20歳未満~80代の町内会員 17名

<主な内容>



	参加者から	市長から
地域の安全	空き家が多く、なんとかしてほしい	市役所で解体することはできないが、制度として国に渡すことができる。(相続土地国庫帰属制度)
	冠水してしまう箇所がある	水位の調査をし、新たにハザードマップをつくる。
暮らし経済	商業施設・娯楽が少ない	企業誘致を頑張っている。
	収入が低い	DXを推進することで、収入を増やしていければと考えている。
医療福祉	医療体制の強化をするべき	病院の新設で改善できればと考えている。

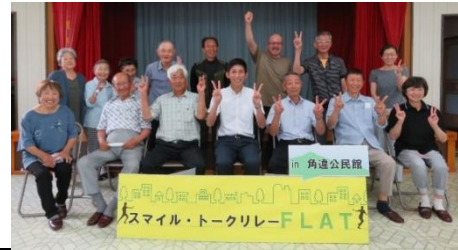
- そのほか、むつ病院の人材育成や、道路の混雑情報や道路整備について対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・4件

■第13回 7/22 角違町内会

場 所:角違公民館

参加者:60~80代の町内会員 14名

<主な内容>



	参加者から	市長から
暮らし 経済	道の駅を作ってほしい	下北縦貫道開通のあと、作ることを検討中
地域の 安全	空き家を解体する補助について	市民の皆様は道路や病院の拡充を求めているので、まずはそこに予算を使っている。基本的には空き家は持ち主の責任のもと管理していただきたい。
	携帯の電波が届かない地域があり、災害情報が届かないのではないかと不安だ。	電波を飛ばせるように、市で電波を増幅する機械をつける方向で検討した。
	猿が増えすぎて困っている	大きな罾の設置を検討する。駆除できるように国に申請中。あと、ドローンでの対策など。
	不法投棄対策について	看板やカメラを設置する。担当課にもしっかり伝える。
医療 福祉	交通手段がない。市内(muve)よりこっちが必要	muveは、市で運営しているわけではない。そこで、コミュニティバスの運行も検討している。そのほか、交通のための部署の設置を検討する。

- そのほか、むつ病院の人材育成や、各町内会へのAED設置について対話が行われた。
- 近隣町内会長の参加あり(近沢、大川目町内会)
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 6件

■第14回 9/15 栗山町内会

場 所:栗山集会所

参加者:50~90代の町内会員 14名

<主な内容>



	参加者から	市長から
子育て 教育	子ども会がなくなっている。 会を作る補助金等、子ども会を 作りやすい環境作りを。	とても難しい問題だと思っている。今の子育て世代は 考え方が違うから、補助金を出してもやらない。祭り や神事には何とか支援したい。
暮らし 経済	冬期間の燃料費の支援をして 欲しい。一過性だと恩恵が薄 い。	新税で財源を確保することで、生活の支援を充実さ せる。企業立地のPRにもなる。関係人口や給料も増 え、良いループになるのではないかと考えている。
	水産業の活性化のため、他国 への輸出を増やしてはどうか。 地元企業では、誘導策が少な い。	産業の一本化を図る。販売・加工等すべてできる工 場の設立を目指す。漁業も農業(トマト)と同じように 補助事業を行う。
地域の 安全	雪かきやった後、大きい塊を置 いていく。配慮して欲しい。	できるだけ配慮したい。また、今年から除雪情報が GPSで見られるようになることもお知らせしたい。
	いざ災害があったときにどう動 けばいいのかマニュアルがな い。防災マップはあるが、具体 的行動の方法がない。自主防 災組織も個人情報の絡みで進 みづらい。	市のマニュアル作成も大切だが、ぜひ自主防災に努 めていただきたい。すべての町内会にマニュアルを作 成いただきたいと思っている。
	消防団員が町内会で少ない	まずは、消防団員の報酬を増やした。 そのほか例えば、消防団員カードを提示すると安く買 い物ができるなど、他市の例を踏まえて、団員になり たいと思える環境作りに励みたい。
医療 福祉	病院の待ち時間が長い。	待ち時間対策をする。予約制度などについて、アンケ ート調査するので、是非御意見ください。
市民 参加	対話による街づくりとして、 「FLAT」を毎年開催して欲しい	私が市長である限りやります。

- そのほか、通学する生徒さんたちを思う安全面のお話で対話が繰り広げられた。
- 防火水路や、大雨氾濫の危険箇所について現地確認を行った。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 3件

■第15回 9/27 合同開催(3団体)

場 所:海老川コミュニティセンター
(栄町町内会、住吉町町内会、
昭和町 A 町内会)

参加者:30~90代の町内会員 15名

<主な内容>



	参加者から	市長から
子育て 教育	障がい児の受け入れ(保育園 入園要件等)や、専門家の必要 性、そのお子様への継続した支 援	少しずつでも取組はすすめないといけない。また、幼 稚園と保育園については、国でも制度を検討してい ることもあるし、親御さんと協議が必要だと思ってい る。
	おつ☆かつの問題点について。 例として障がい児が、地域移行 (おつ☆かつ)のため活動した くてもできなくなった。 限られた学生生活は、その時し かないので対応を望む。	現在、サッカー、柔道、文化部からはじめていて、多く の運動部も含むとなると移動の足が問題になると考 えられる。ただ、この取組はこれまでかなわなかった 多くの中学生のやりたいことをかなえられていると思 っている。その上で、お時間をいただきながら、様々事 情を抱えているみなさんの思いもかなえていきたい
暮らし 経済	エネルギー事業との共生は必 要だと思っている。そしてそれ が、観光や経済の発展につな がるようになれば良い。	市においても施設が来年稼働予定で、やっと市民の 皆様に還元できるタイミングが来ると思っている。
	おつ下北には、良いところがたく さんあるのに宣伝とか、整備が 不足していると感じている。(ち ぢり浜を例に	来年は、ジオパークの全国大会もあるので早急に整 備を進めたい。
	下北縦貫道の完成時期につい て(10年?)	縦貫道については、私も頑張るのでみなさんも、例え ばシンポジウムなどを開催した時には、積極的に参加 をしてほしい。そのことが、縦貫道の完成時期を早め ることにつながる。
地域の 安全	インフラ整備を早急にするべき。 水増しが怖い。	浸水しやすい箇所は、市でも把握しており、昨今の雨 量の状況を鑑みても早急な排水対策が必要だと考 えている。これまでと対応方法を変更する時期にきて いる。

	参加者から	市長から
	グループ内での話し合いにおいて、自主防災組織の立ち上げを人材の面で躊躇しているという話があったが、アバウトでも良いので作ってやってみようかという話になった。	自主防災組織は、青森県及びむつ市ともに低い状況。共助の面から、ぜひとも結成してほしい、担当部署に相談してみてください。
医療 福祉	医師確保が必要	市民の皆様の望みですので力を入れている。少しですが成果もあり、さらに進めたい。
	集いの場の整備（暑さ対策）のお願い	暑さ対策は確かに必要。計画性をもって整備していきたい。
	新病院は予定通りできるか？	病院の新設は、努力します！
市民 参加	町内会が後継者、担い手不足で悩んでいる。活性のために市職員の参加など考えて欲しい。	町内会と職員の連携は検討したい。
	ユニバーサルデザインのまちづくりについて。例えばユニバーサルマラソン大会などあったらいいと思う。	そうですね。あれば良いと思う。 むつ市でもユニバーサル野球大会が開催される予定がある。 様々な形で開催できれば。

- コミュニティセンターの整備や高齢者への手厚いサポート、10市大祭典の話のほか、東日本大震災の復興支援に積極的に関わる方から、防災力の向上に関して対話が盛んに行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 6件

■第16回 10/10 シャベリ場

場 所:海老川コミュニティセンター
 参加者:20～60代のシャベリ場参加者 10名
 <主な内容>

テーマ:障がい福祉について、親の悩み・相談について

- 団体側から事前に提示のあった内容(当日市長と話したい話題)に沿って、フリートーク形式にて対話を実施。
- 災害時対応、相談・集いの場の整備のほか、物価高騰やむつ総合病院の人材育成等、広く対話が行われた。



■第17回 10/16 むつ総合病院看護局

場 所:むつ総合病院東診療棟3階会議室

参加者:むつ総合病院勤務の看護師 19名

<主な内容>

テーマ:看護師の確保について

- テーブルを円状に設置するかたちで実施。
- 主に職場環境の改善・若手看護師の離職対策や60歳を超える看護師への対応に関する対話が行われた。



■第18回 10/22 斗南岡町内会、最花町内会

場 所:斗南岡集会所

参加者:40~70代の町内会員 23名

<主な内容>



	参加者から	市長から
子育て 教育	通学の送迎について、タクシーの運行等して欲しい。また、今後の計画を示して欲しい。	バス、買い物支援、除雪について、今年度中に計画を示していきたい。
地域の 安全	避難所でなくても、町内会の集会所に毛布や非常食を常備できるようにして欲しい。	自助、共助の観点から、町内会でぜひ自主防災組織を検討してもらいたい。自主防災組織を作っていただくと市で機材等の補助も可能です。
	除雪後の雪溜め場について、雪を溜めすぎると子供の遊び場になって危険な上、溶けた後に大きな水たまりになってしまうので対応を考えて欲しい。	雪を溜める際に一箇所に集中しないよう、状況を見極めながら対応していきたい。
医療 福祉	他所の病院を参考にしたうえで、むつ総合病院の待ち時間短縮に取り組んで欲しい。	良い病院の例も取り入れながら、これからも待ち時間対策について検討を重ねていきたい。
行政 サービス	デジタル移行に関する高齢者への対応について考えを教えて欲しい。	市ではスマホ教室を実施している。市民にとって便利になるようにデジタル化を進めていくが、現金等のアナログで出来るサービスも残すことで、高齢者やデジタル端末の扱いが苦手な方でも不便な思いをしないよう進めていくつもり。

- そのほか、観光地の除雪や道路の凍結など冬期の対策について多くの対話が繰り広げられた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 4件

■第19回 10/24 本町町内会(大畑町)

場 所:本町町内会館

参加者:40~80代の町内会員 10名



<主な内容>

	参加者から	市長から
暮らし 経済	商品券の種類を2種類に分けるとわかりにくいので分けない方が良くと思う。また、商品券ではなく現金での補助は考えないのか。	利用者が大型店ばかりに偏ってしまうことを防ぐために2種類に分けている。商品券ではなく現金をお渡しすると、通販や市外での活用が増えむつ市にお金がまわらなくなってしまうため、どうしたらよいか検討していきたい。
	スーパーが閉店し、買い物に不便な人が増えているが、今後どのようなようになるのか。	函館牛乳のように、移動販売車を走らせることを検討している。
医療 福祉	福祉施設を増やして欲しい。	施設を建てると、その分介護保険料が上がってしまう。そのため、兼ね合いを研究しながら、ニーズに応えられるよう対応していきたい。
	医者が足りないことに関してどう考えているのか。	待ち時間が長いことについては、多くの人が民間の病院に行かずむつ総合病院に行くためだと考えている。そのため、医者が足りないわけではないと考えているが、もちろん医者を増やすことについても考えていく。

- そのほか、避難場所への移動に関してや民生委員のなり手不足解消について対話が行われた。
- 元消防職員の参加者を中心に、特に川の氾濫時の対策について住民同士の積極的な意見交換の場となった。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ なし

■第20回 10/24 孫次郎間町内会

場 所:孫次郎間地区公民館

参加者:40~80代の町内会員 32名



<主な内容>

	参加者から	市長から
暮らし 経済	市の合葬墓整備を是非とも進めて欲しい。	慰霊塔のスペースなど色々な事例を研究中である。地域のお寺にある合葬墓との兼ね合いを考えながら検討していきたい。
地域の 安全	サルが増えてきているようだが、対策は考えているのか。	モンキードックを連れていったり、ドローンを飛ばして嫌な音を発生させてサルを追い返したりなど、出来る事や新しいことを進めている段階。
医療 福祉	ループバスの使い方がわかりにくい。現状 YouTube で使い方の確認はできるものの、もっとテレビなどで見られるようにならないか。	今までは広報むつだけで発信してきた情報を、現在は YouTube や SNS を使って発信するようになったため、使い方の発信も工夫していきたい。テレビだと多額の税金を使ってしまうため、無料でできるものをつかってこれからも頑張っていきたい。

- そのほか公園の遊具が減少していること、海水浴場の開設について等の意見がうかがえた。
- 豪雨災害時の被害をもとに対策案についての対話も活発に行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 6件

■第21回 10/26 中島町内会

場 所:中島町内会館

参加者:10~80代の町内会員 15名



<主な内容>

	参加者から	市長から
暮らし 経済	大畑の桜並木は日本で2番目に長い。これを活かしたアピールなどができないか。	良案だと思う。大畑は地域の団体が色々やってくれているし、大畑にも地域おこし協力隊を呼んでもいいのではと思っている。市が桜並木を活かした何かをやる予算の兼ね合いで持続性が無くなってしまうため、先に述べたような団体と手を組みながら、今後皆さんと考えていきたい。
地域の 安全	防災士の育成について、市での補助などを考えてもらいたい。	防災士の研修について、今は青森市まで行かなくてはならないため、まずは市内で受講できるように進めていきたい。
医療 福祉	アゲハを利用しようとしても、自宅からバス停までが遠くタクシーを使っている状況である。	大畑駅までを周遊するコミュニティバスが出来ないか考えている。また、来年度には交通に関する事業の担当を役所内で立ち上げる予定。
	アゲハを使う際に、マイナンバーカードの原本以外を用いる方法は検討してもらえないか。	マイナンバーカード原本がない方がよければ検討するが、ある方が良い点もあるということを理解していただきたい。
	むつ総合病院の新病棟が完成したら待ち時間は解消されますか。	素直に答えれば変わりません。ではどうするかというと、全部予約制にすることも考えている。医師確保についても他地区の大学から東北枠として医師を集めようと思っている。もちろん大畑診療所も残したい。
行政 サービス	市民へのタブレット配布を踏み切れない理由は何か。	どういう世帯にどのくらいのサービス提供が必要か、高齢者が対応できるのかなど検討することが多い。端末は無料でもそれ以外は有料のため、コストと高齢者からのニーズの釣り合いがとれるよう考えていかなければならない。

- そのほか雇用についてや年齢層を絞ったスマイル・トークリレー「FLAT」の開催検討について意見がみられた。
- 公民館の今後についても、早急な検討を求める声が挙げられていた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 2件

■第22回 10/31 シニアサポートむつ

場 所:海老川コミュニティセンター

参加者:シニアサポートむつ会員 48名

テーマ:介護予防運動の地域定着と継続化を目指して

<主な内容>



	参加者から	市長から
介護 予防 運動	指導者のサポートが必要。	指導者のサポートは必要。指導者からサポートしてくれる方にお話をされていると伺った。活動が継続されるよう支援していく。
	海老川コミュニティセンターの施設利用について (利用後の清掃、掃除用具の整備、冷暖房、YouTubeが見られる設備等)	施設利用後の清掃は使用料を取って外部に依頼するという方法も考えられるが、利用者の意見を聞きながら検討していきたい。
	会場までの移動手段の確保。 moveが移動しやすい路線にならないか。バスも利用しやすい時間帯に走ってほしい。	公共交通機関等ともう少し本数が走るように調整をしていきたい。
	行政のバックアップが必要。	介護サービスを利用しないように介護予防に取り組むことは意義がある。笑顔で取り組んでいただけるよう活動を支援していきたい。今年度から活動費を支援できるよう協議を進めている。
その他	小中学校の給食費の無償化を検討してほしい。	小中学校の給食費無償化は検討していきたい。
	11月中旬に配布される燃料券だが、商品券にしたらいのではないか。	市民の意見から燃料券になった。市民全員が恩恵を受ける事業はなかなかなく、比較的皆さんが困っているところに手を差し伸べていると考えていただきたい。

- 認知症サポート団体認定証交付式の後に、ワークショップ形式にて開催。
- 普段使っている施設(海老川コミュニティセンター)の整備についてや移動手段の確保に関して希望する声が多かった。

■第23回 10/31 川守町町内会

場 所:川守会館

参加者:50~80代の町内会員 24名

<主な内容>



	参加者から	市長から
子育て 教育	不登校児童の情報収集をお願いしたい。	しっかりやっていきたい。オンブズパーソン制度を利用して子どもの声を政策につなげていきたい。
	部活動をやる児童が減少しており、学校の維持費も余計にかかってしまうので小中学校を統合してもよいのでは。	小中学校を減らすと地域に子どもがいなくなってしまう、地域が廃れてしまう。地元の方の話を参考にしていきたい。
暮らし 経済	市内のスポーツ施設を関東の大学等の合宿先として使ってもらうなど有効活用できないか。	誘致を実行できるようにしたい。六ヶ所にあるテクノロジーセンターも合宿所になっているので、むつ市の原燃も同じようにできないか考えたい。
	大湊のタクシー会社が2社ともなくなってしまい夜にはタクシーが呼べないため、病院に行きたいときは救急車を呼ばなくてははいけない。	市でも対策を考えていきたい。現在、下北自動車学校では2種免許を取ることができないため、取ることができるよう協議中です。また、自衛隊 OB にも運転手をやらしてもらえないかお願いしているし、白ナンバーでもできるタクシーのようなものも検討している。
行政 サービス	高齢者の雪かきサービスなどの申請もデジタル化されて欲しい。	是非やりたいので考えていきたい。

➤ そのほか、むつ病院の待ち時間対策や、スキー場の活用について対話が行われた。

➤ 「市民の声」として持ち帰り・・・ 5件

■第24回 11/8 青森大学むつキャンパス

場 所:青森大学むつキャンパス

参加者:10~40代の学生 18名

<主な内容>

テーマ:学生目線で描くむつ市の将来は?

➤ 青森大学非常勤講師 小寺氏 の授業の中で、5年後のむつ市を題材にワークショップを実施。

➤ どんなむつ市になってほしいかを考えた後、その実現に向けて必要なものをグループで話し合った。

学生からは、他地域を含めた若者同士の交流や就職先の増加、交通インフラの整備を望む声が多数



■第25回 11/11 宇田町町内会

場 所:宇田町町内会館

参加者:30~90代の町内会員 20名



<主な内容>

	参加者から	市長から
子育て 教育	教員不足が問題になっているので、高校生を先生として招いたり、YouTube を活用した授業を考案したりしてみてもどうか。	教員不足は問題ではあるが、現在子どものお大半はタブレットを所持しており、それらで勉強することができ。むつ市では、マイクラフトのようなゲームで英語などを勉強できるようにすることも考えている。
暮らし 経済	公共交通が脆弱なために経済の悪化や健康への影響があると思うので、インフラ整備を進めたり免許返納にメリットを付けたりする必要があるのでは。	アゲハでバスに乗る人が増えてきている。今後バスの本数やバス停の数も増やそうと考えている。
	北の防人安渡館が何の施設かわからない人も多いため、観光産業のひとつとして力をいれてもいいのでは。安渡館内に飲食店もないため利用条件を緩和しては。かまふせマーケットも広報むつでPR するなど周知を強化してはどうか。	安渡館については、下北 TABI アシストで作っている「ぐるりん下北」というパンフレットに載せていきたい。飲食店も出店できるように、利用料等含め検討していく。かまふせマーケットについても市民に知って欲しいので対策を考えていきたい。これからも多くの人に来てもらえるような施策を打ちだしたいと思っている。
	家庭菜園がカモシカの被害にあっているため捕獲して山にかえして欲しい。	頭数が増え続けているし、そもそも個体が賢くなっており捕まらなくなっている。対策を皆様と一緒に考えていきたい。
行政 サービス	市の公式 LINE は内容が多すぎるので、ジャンプ機能を用いて興味あるものだけを見られるようにして欲しい。	来年春からセグメント配信(ユーザーにあわせた内容を配信するもの)を計画しており、欲しい情報を選べるようにする。
	キャッシュレス決済の促進を図る必要があるのでは。	予防接種申請のデジタル化を考えているところ。令和6年春から住民票も PayPay で支払いできるようにする。

市民参加	スマイル・トークリレー「FLAT」で出た意見を市民が見ることができるようにしたらどうか。	HPにて過去のスマイル・トークリレー「FLAT」の記録を公表しております。
------	--	---------------------------------------

- そのほか、むつ病院の待ち時間対策や、除雪対応・道路状況の改善について対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 3件

■第26回 11/18 町内会長

場 所:下北文化会館展示ホール

参加者:60~80代の町内会長 50名



<主な内容>

	参加者から	市長から
子育て教育	脇野沢小中学校の統合問題について、現状では人数の関係で部活動が困難で子ども達がかわいそう。	地域にも学校は必要。統廃合は市が提案するが、結論ありきの提案はしない。地域の皆さんと話し合った内容で議論討議していきたい。
暮らし経済	道路沿いに家を建てられるような新しい道路整備の構想があるか。	都市計画のコンパクトプラス化にならない、家が建つような新しい道路を整備するよりも空き家対策をしなければいけないと考えている。どのように町を興すかは町内会や地域の方々と話し合っていきたい。
地域の安全	防災無線の設置が沿岸地域のみが変わるらしいが、沿岸地域だけでいいのか。	防災無線は家の気密性や天候の影響で100%聞こえるということはないため、皆様の命を守ることを第一に考えるとスマートフォンからのアラートや通知が届く方向に整備していきたいと思っている。
	防災に関する放送のスマートフォン活用について、電波がないところではどうするのか。	どんなツールを使っても100%の人に情報を届けることは難しい。そのため、スマートフォン、テレビ、ラジオなどを複合的に活用して情報が伝わるようにしていきたい。
	災害時における広報等にドローンを活用できないか。	むつ市にはどこの自治体にも先駆けて「Swan Wings」というドローンの部隊があるので、様々な場面での活用について検討していきたい。
	長期滞在できる避難所の確保が必要では。	令和5年度、津波に対する計画を含めた防災計画を見直しているため、長期滞在できる避難所についても検討していく。

医療 福祉	要支援者名簿が活かされていない現状について見解を教えてください。	要支援者情報はGIS(地理情報システム)で管理し、警察、消防、町内会長、民生委員等に情報共有させていただいているが、情報だけでは避難行動の役に立たないので今後どう活用するか検討中である。
----------	----------------------------------	---

- まずは、R5年度これまで実施してきたスマイル・トークリレー「FLAT」を通していただいた「声」に対する、市の対策検討中のものを、各部局長から説明
- 説明後、それらに関する対話を実施し、その後には、テーマを決めずにフリートーク形式で対話を行った。
- フリートークの際には、上記のほかそのほか災害対策や各地域の環境整備について、博物館の建設希望等の話題があがっていた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 2件

■第27回 12/14 青森県保育連合会むつ支部

場 所:下北文化会館2階集会室

参加者:13名

<主な内容>

テーマ:子育て、教育について

- 園長先生を中心に、市内保育園の代表者が集まった。
- 子育て世代向けの支援はもちろん、人材の育成や不足について、教育活動の支援等を望む声が多かった。



■第28回 2/23 苫生町町内会

場 所: 苫生町集会所

参加者: 40~80代の町内会員 17名



<主な内容>

	参加者から	市長から
子育て 教育	保育園を無償化してほしい。	0~2歳児の保育園無償化については、悩んでいる。子どもは家で育てられた方が、親や子どものためになると思っている。無償化するか、育休に力を入れるか検討していく。
暮らし 経済	バス停が遠く、移動が不便。タクシーで通院すると月3万円かかる。割引券がほしい。	バスは経路等を見直す予定。コミュニティバスがいいか、タクシーの助成がいいか検討していきたい。
	自転車レースなどのイベント等を企画してみてもどうか。	下北は信号が少なく、自転車が乗りやすい地域だと思う。是非検討させていただく。
行政 サービス	私道だと、道路や側溝の相談をしても断られてしまう。道路の区分に関係なく、整備をすることはできないか。	私有地は、市に寄付していただくことで、整備ができるようになる。共有の土地等についても、寄付を検討してもらいたい。
	イベントがあっても、会場まで遠い。イベント用のバスを出すことはできないか。	来年度、交通政策の担当部署を作る。交通政策に関するアンケートを行うので、ご協力いただきたい。
	イベントについて、テレビで告知してほしい。	テレビでの告知は多額のお金がかかってしまうことから、お金を使わない SNS 等を活用しています。
医療 福祉	将来、介護施設に入所できるか不安なため、施設数を増やしてほしい。	介護施設を増やすと、介護保険料が上がってしまう。保険料とのバランスを考えて、検討していく。

- そのほか、若者の出会いの場やスキー場の利用率、市職員の駐車場の利用率や市に対する土地の売却について対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 4件

■第29回 2/23 海老川町青葉会

場 所:海老川コミュニティセンター

参加者:60~80代の会員 16名



<主な内容>

	参加者から	市長から
行政 サービス	ゴミステーションについて、町内会に入っていない人が利用している現状。ルールを守らない人がいるため、市に管理を任せることはできないか。	まずは皆様が町内会に入ってくれるようになってほしいと思う。市で管理するか検討していく。
	コミュニティセンターの座布団の買い換え、多目的トイレの整備、掃除機の購入、和室に絨毯を敷くなど、整備をお願いしたい。	順次整備していく。もう少しお待ちください。
医療 福祉	むつ総合病院の建設について、入札者がいなかったと聞いた。早めに手を打って欲しい。	2024年問題が関係しており、医者も建設業も時間外の労働時間に制限がかかる。何とか入札者を取れるように頑張っていきたい。
	むつ総合病院の待ち時間が長い。青森県立病院に行って勉強してみてもどうか。	待ち時間が長い原因の一つは、医者の数が足りないことだと考えている。時間はかかると思うが、東北医科薬科大学から医者を連れてこようと思っている。また、来年度からは待ち時間がどのくらいなのかわかるようにする予定。キャッシュカードでの支払いもできるようにもしたい。
地域の 安全	津波に対する避難訓練について、もっと具体的に実施するべきではないか。	訓練するべきだと思うが、皆様の体への負担が懸念される。検討していきたい。
その他	グラウンドゴルフについて、市長にも顔を出してほしい。	来年度は行きます。

- そのほか、バスの停留所の数の問題や高齢者への買い物支援、除雪のタイミングについて対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 3件

■第30回 3/2 银杏木地区会

場 所:银杏木公民館

参加者:30~80代の町内会員 26名



<主な内容>

	参加者から	市長から
暮らし 経済	川内、大畑、脇野沢の地域の活性化について教えてほしい。	各地域に仕事があることが大事だと思っている。例えば、脇野沢の蛸田はサーモンの養殖が始まった。蛸田のサーモン養殖は100m×100mの網が10個使われており、日本最大規模のもの。川内については、地域おこし協力隊のおかげでイベントが増えており、活性化していることから、地域おこし協力隊には大畑地区でもイベント等を開催してもらい、盛り上げてもらいたいと思っている。
行政 サービス	下北の紅葉を調べても薬研しか出てこないが、川内の遊歩道も綺麗なので、是非整備してもらいたい。 水路や道路の刈り払いをやるの見晴らしが良くなる。そういったことをやってくれる人への援助をしてほしい。また、地域活性化のために事業化してほしい。	川内の遊歩道が良い場所だというのは存じ上げている。遊歩道の整備担当は県なので、今後調整していく。 良い話だと思うので、そういったところも検討していきたい。
医療 福祉	むつ総合病院の駐車場が狭い。	金谷公園の道路側を工事し、駐車場を拡張している。また、AIを使って、どこの駐車スペースが空いているかモニターに表示させるシステムを導入したいと思っている。

- そのほか、防災無線の在り方や高齢者福祉・医療の市長公約、婚活や動物による農作物被害について対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 2件

■第31回 3/9 新女館町内会・女館高台町内会

場 所:法呂神社

参加者:60~80代の町内会員 12名



<主な内容>

	参加者から	市長から
暮らし 経済	我が地域は高齢化しております。前まではアツギがあったものの、もう少し働く場所の確保が必要だと思う。地元民が残るような対策が必要だ。	今はトマト工場であるが、次は産業に目を向けたい。ただし、半導体工場などの誘致は、その周辺の土地が高騰してしまい、若い人が住めなくなり、地元の企業が潰れてしまう可能性がある。そういったバランスを考えつつ、検討していく。
地域の 安全	むつ市除雪情報提供システムについて、どのくらいの頻度で更新されているか。また、何cmの積雪で除雪が入るか。	5分ごとに更新されている。積雪量に関しては、県は5cm、市が10cmで除雪が入る。ただし、次の日の天候を考慮しており、積雪量が10cm以上で除雪しない時もあれば、10cm未満で除雪することもある。
	能登半島地震では、防災計画がずさんだったようだが、むつ市はどうなっているのか。食料を3~4日は食べていけるのか。	今、地域防災計画の最新版を作っている。食料の備蓄については、市民の皆さんに3日分の食料準備をしていただきたい。市が1/3、県が1/3の食料を準備することになっている。非常用のトイレ・段ボールベッドの準備については、数百個の準備が可能である。足りない部分は支援を受けたい。 陸奥湾で津波が起こると、むつ消防署より低い場所は浸水するが、津波到達まで2時間かかるので、まずは自分で逃げてもらい、次に町内会に共助をお願いしたい。
市民 参加	地域に子どもはいるが、ねぶた運営時に親が手伝いにきてくれない。親と交流ができない。	苫生地区は、夏祭りの時に町内会で焼き鳥をしたり、お持ち帰りのお菓子を用意したりする。各地区で人が集まる工夫をし、顔を合わせる機会が増えていけばいいなど思っている。

- そのほか、子ども会の育成や公共交通機関の整備、むつ☆かつについて対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 3件

■第32回 3/14 新町町内会

場 所:新町集会所

参加者:40~80代の町内会員 25名



<主な内容>

	参加者から	市長から
子育て 教育	憩いの家の外にあるゲートボール場について、あまり利用されていないので、子どもの遊び場に使用してほしい。	昭和団地に子どもの遊び場をつくろうと思っている。また、皆さまの許可が降りれば、ゲートボール場も子どもの遊び場にしたいと思う。
	少子化対策について、大学や専門学校の学費、生活費の圧迫、育児休暇の問題がある。	少子化対策は様々やっており、今は子供の数が減っていない状態。お帰り奨学金制度もあるので、順次拡充していきたい。
暮らし 経済	農業の担い手不足について、むつ市がモンベルさんと協定を結んでいることを鑑みて、カッコいい作業着を作ればいいのか。	漁業や農家のものも作っていききたい。
	結婚したくない人がすごく多いので、そのため子どもが少ないのでは。昔みたいにお見合いとかをやらればいいのか。	若い人はだいたいマッチングアプリを活用している。青森県でもAIというアプリを運用している。若い人には若い人なりの出会いがあるので、そういったことに支援をさせていただく。
地域の 安全	防災無線が聞こえづらい。	新年度からスマホ購入支援をさせていただく。スマホを使ってほしいということではなく、持っていたければ、そのスマホから防災無線が流れてくる。自宅でも病院でも聞くことができる。
	今年から除雪状況がGPSで確認できるようになりましたが、何の意味があるのか。	今まで業者さんは、タコメーターで除雪状況を報告する作業をしなければならなかったが、GPSを用いることでその作業が簡略化された。副産物として皆様に公開しています。

- そのほか、高齢者の移動支援や除雪問題について対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 4件

■第33回 3/19 横迎町町内会

場 所:横迎町集会所

参加者:40~80代の町内会員 14名



<主な内容>

	参加者から	市長から
行政 サービス	運動公園のトイレ(野球場の下側)を洋式にしてほしい。	この声は非常に多い。令和6年度で計画を作って、令和7年度に改修をしたいと考えている。
	ゴミ集積所の燃えるゴミ・燃えないゴミの掲示板が見えなくなっている。	今年の4月から3年かけて順次変えていく。
医療 福祉	バスの乗り口の高さが高く乗りづらいため、気遣いをしてほしい。	むつ車体さまが運行しているバスは、低床型のバスを使っていて、気遣いをしている。検討の材料にさせていただく。
市民 参加	町内会について、全く別の組織の見方もあるのではないかと。私たちは町内会長のなり手不足についていろいろと考えている。市長は他の地域も見ていると思いますし、何か良い案があれば教えてほしい。	今現在の町内会長は色々な役割を担ってくれていて、大変だと思う。子供会など役割が重なっているものや、合同開催できるものは無くし、負担を軽減していきたい。町内会で必要な支援がある場合、提案していただければ検討していく。
その他	国道や十和田の沿道は綺麗だ。むつ市の沿道の花などを何とか綺麗にできないものか。個人的に手をつけていいのかわからない。	中央町の花壇はボランティア、大畑は業者に委託して手入れをしてもらっている。手をつけたい場合、市役所に連絡していただければ確認した上でお答えします。

- そのほか、地震災害への対応策やむつ病院の待ち時間対策について対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 0件

■第34回 3/20 中央町内会

場 所:中央町内会集会所

参加者:30~70代の町内会員 12名



<主な内容>

	参加者から	市長から
地域の安全	<p>むつ市には自転車の標識があるのか。車は車、人は人、自転車は自転車と分けて通行できればいいのではないか。若い人は自転車の乗り方が危ない。</p>	<p>自転車の罰則ができた経緯は、イヤホンをして事故を起こしてしまったり、スマホを使ったりするような若年層の事故が多いという背景がある。若年層へ向けた自転車の乗り方の啓発については、検討させていただく。</p>
	<p>津波想定について、橋を渡らないと避難できない人がいる。八戸市ではラピアを避難施設として協定を結んだ。むつ市もアツギやプラザホテルむつなどと協定を結んでみてはどうか。</p>	<p>民間と避難所について提携している。例えば大畑・関根は約30分で10m以上の津波がくるので、大安寺などを借りなければ避難は難しい。むつ市は津波がくるまで約2時間かかるので、まずは水平避難をしてもらいたい。津波想定については、橋が落ちたりすることも鑑みて検討していきたい。</p>
市民参加	<p>町内会役員のなり手不足。役員になれば死ぬまでやめることができないと言われている。市に町内会の行事への参加をお願いしたい。また、できれば役員もやってほしい。その他良い町内会の事例があれば教えてほしい</p>	<p>市内の町内会で同じようなことが起きていて、何とかしたいという想いがある。むつ市の中でも、中心地の大きいコミュニティの町内会と小さいコミュニティの町内会それぞれに適した対策方法があると思う。良い事例があれば今後紹介していきたい。また、役員の方の負担が減るような支援があれば、取り組んでいきたいと思っておりますので、いい案があったら教えていただきたい。</p>
その他	<p>厚生労働省に意見を発言する場はあるのか。</p>	<p>厚生労働省に意見を述べるには、国会議員にお願いする、県知事が知事会で国に申しつける等の方法はある。また、市町村長会というものもある。</p>

- そのほか、民選委員のなり手不足問題やむつ病院の整理券の待ち方、体育館使用料の減免や歩道の除雪について対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 1件

■第35回 3/20 松山町内会

場 所:下北文化会館マルチルーム2、3

参加者:50~80代の町内会員 21名



<主な内容>

	参加者から	市長から
暮らし 経済	七戸十和田や三沢空港からの交通手段ができれば便利になるのではないのでしょうか。	仰るとおりでございます。何かできないか検討させていただきたい。
行政 サービス	子育て世帯の若い保育士の先生は、自分の子どもを預けながら他の子どもを見ている。保育士のサポートを考えてほしい。	保育士の支援は4月からスタートする。国から8割の補助をもらいつつ、市民の皆さまの負担を大きくしない支援を考えていく。
	運動公園の使用について、受付をする場所が離れていて不便。あとは使用料を無料にしてほしい。	使用料を無料にしてもいいと思っている。しかし、他の施設で有料にしているところもあるため、その兼ね合いも考えて、検討させていただきたい。
	合葬墓が必要だと思う。一人様が入るとき、無縁仏には入りたくないなので、合葬墓を建てて、中に入れてほしい。	市内の寺院に合葬墓がある。市で合葬墓を作ってしまうと、他の寺院に迷惑をかけてしまうため、調整していかなければならないと思っている。
医療 福祉	救急搬送される一人暮らしの方に関して、搬送されても別居している家族の方への連絡先がわからない場合がある。連絡できる仕組み作りをしてほしい。	大事な提案だと思う。どういった対応がいいか消防と連携して検討していく。
市民 参加	草刈りボランティアをやっているが、だんだん高齢化が進み、協力する人が少なくなってきた。	草刈りや除雪について、皆さんがボランティアでやってくれる町内会には支援をしていきたいと思う。現在も補助金による支援はしているが、支援できる仕組みについて今後検討していく。

- そのほか、高齢者への買い物支援やむつ病院の入札状況、介護タクシーや雪溜場の排雪について対話が行われた。
- 「市民の声」として持ち帰り・・・ 3件

6. 「市民の声」としての対応

「市民の声」とは、市民及び団体からの提案、意見、要望及び苦情を総称して「市民の声」と呼んでおり、“受付 → データ登録 → 関係課で対応”の流れで処理をするもの。

「FLAT」での対話の際に伺ったもののなかから、「市民の声」として持ち帰り対応したもの。

		町内会名	要望標題	対応
第1回	1	大平町内会	カーブミラーの角度について	市役所職員立ち会いの下、調整済み
第3回	2	北関根町内会	泥上げ及び草刈りの回数について	今後とも市職員が現場の状況を確認し、町内会長とも相談のうえ、作業を手配したい。
	3		サルの檻について	むつ市では小型の檻30基を有しているため、今後もサルの行動域等の把握に努めながら罠を設置してまいりたい。
第4回	4	緑ヶ丘町内会	下北駅の駐車場について	1台分の一時駐車場があることを説明。
	5		民生委員及び児童委員について	①委員のなり手不足について、これまで欠員の補充に努めてきた結果、1年間で10名の補充をすることが出来た。今後も欠員の補充に取り組みたい。 ②高齢者及び児童のリストについて、個人情報保護の観点から、特定の個人情報を使用する目的以外で配布することは出来ません。 ③報酬の改善について、令和4年度から令和5年度にかけて800円を増額している。活動費については県の動向を踏まえ、適切な活動費の金額設定に努めたい。
	6		川の氾濫について	御指摘の溢水箇所は、完全解消が困難な場所であるため、強い降雨があるたびに現場状況の把握を行っていき、必要に応じ通行止めの処置を講ずるとともに対応を検討して参ります。

	町内会名	要望標題	対応
第6回	瀬野部落会	瀬野川の氾濫対策について	嵩上げ工事については、周辺の土地、道路、橋梁を一体で嵩上げするものとなることから、現実的には困難であると考えております。 市としては令和4年度中に瀬野川内に堆積していた土砂の撤去を実施し、河川の断面確保を図っております。 今後も河川の適切な管理に努めて参りたい。
		海水浴場に放置されている可燃物について	すぐには対応出来ないが、片付けていく方針。
		蛸田地区のバス停留所について	市では出来かねる旨を説明したうえ、令和5年度の板金工業組合青年部会ボランティア修繕で小屋を直すこととなった
第7回	湯野川地区会	旧湯野川小学校の解体について	市が解体することは出来かねます。対処法案として、①市に寄付をする。②不動産会社等に相談し、建物付きでの売却を検討する。と紹介。
		湯野川公民館前の公衆トイレについて	現在立て替えに向けて事業を進めております湯野川温泉濃々園には、24時間利用可能なトイレを整備予定であります。
		湯野川公民館前の街路灯の移設について	街路灯移設にあたり、関係機関（NTT、東北電力）からの承諾が必要となりますので、承諾を得られた際には、街路灯のすみやかな移設に努めてまいりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。
		濃々園前の橋について	設置者が判明し次第、適切な対応を検討してまいります。
		遊歩道の利用について	「遊歩道入り口駐車場～あじさい橋～セキレイ橋～大滝休憩所～ハツ橋」の区間は散策可能。「張出歩道～あすなる橋～福寿の小径」の区間につきましては、落石等の危険箇所があるため、現在は通行止めとしております。

第7回	15	湯野川地区会	濃々園前の陥没箇所について	新規にアスファルト舗装を行います。
第8回	16	木野部町内会	旧佐助川小学校の金網について	柱に固定することで対応した。
	17		木野部公民館の修繕について	対応を進めることとした。
	18		ゴミ拾いに対する表彰について	表彰の基準に該当しないことや、感謝状贈呈の事例について説明した。 ※対象者さん広報むつ11月号で特集
	19	赤川町内会	小赤川のにごりについて	小赤川を工事している森林管理署と青森県に工事完了予定日を伺ったところ、森林管理署は8月末工事完了予定。青森県は9月末工事完了予定とのことでした。森林管理署、青森県ともに濁水を下流に流さないよう注意をしながら工事を進めていくとのことでしたので、御理解賜りたいと存じます。
第10回	20	大湊浜町町内会	融雪後の水が流れる溝をつくってほしい	当該箇所については、今冬に現場確認を行い、原因究明とその対策について検討していきたい。
第12回	21	南松町内会	草刈りをしてほしい	現地確認したところ、県道沿いの植樹帯から草が伸びておりましたので、県道を管理する下北地域県民局へ情報提供致しました。

第 12 回	22	南松町内会	北赤川踏切付近に迂回路を整備してほしい	北赤川踏切の遮断機について JR 東日本へ問い合わせたところ、少なくとも 2022 年から 2023 年まで故障の記録はないとのことでした。一方で、2022 年 4 月 27 日に強風による安全確保のため急遽列車を停車した結果、列車付近の遮断機が作動した記録はあるとのことでしたので、遮断機が下りたままになり渋滞が発生したのは、おそらくその際の出来事かと思われますが、遮断機の故障ではないとのことでした。また、迂回路の整備につきましても現時点では非常に難しいと考えております。
	23		空き家敷地内の樹木による見通し障害箇所について	現地を確認したところ、市道沿いの民地より木の枝がはみ出しておりましたので、土地所有者へ剪定依頼を致しました。
	24		冠水被害防止のため側溝を整備してほしい	現場確認を行った結果、A 様から御要望のありました箇所は、道路側溝底面の逆勾配等が冠水の主な要因となることから、その部分を解消するためには町内排水全体の再計画及び調査等が必要となるため、今後の調査結果を踏まえ検討して参りたいと考えております。 B 様から御要望のありました箇所につきましては、側溝や柵の詰まりが確認されましたことから清掃を実施したいと考えております。 C 様から御要望のありました箇所につきましては、個人所有の私道となっているため、むつ市で実施しております「私道等整備補助金」の活用を御検討くださいますようお願いいたします。

第 13 回	25	角違町内会	防災無線を直してほしい	<p>市内の防災無線の一部におきまして、機器の故障等により放送が聞こえにくい箇所もあり、皆様にはご不便をおかけしておりますが、機器が古いため修理が困難な状況となっております。</p> <p>市では、防災無線のデジタル化のため、今年度、既設の防災無線の更新を進めており、津波の浸水想定区域全域への新たな防災無線について、令和5年度完了に向けて順次整備を進めてまいりますので、御理解を賜りますようお願いするとともに、防災無線は雨等の影響により聞こえにくい場合も考えられますので、ご自宅での情報収集につきましては、市の広報車やテレビ・ラジオからの情報収集のほか、防災かまふせメール・市の公式LINE等の登録などもあわせてご検討くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>皆様への情報伝達につきましては、新たな防災無線の整備を進める中で、いただいた御意見をもとに今後も検討を進めてまいりますので、御理解を賜りたいと存じます。</p>
	26	近沢町内会	防災無線を直してほしい	上記に同じ
	27	大川目町内会	防災無線を直してほしい	上記に同じ
	28		水門を整備してほしい	後日、業者立ち会いのもと再度現場確認し、補修方法について相談することとした。
	29		不法投棄が増えているので、看板を立てるなど注意喚起してほしい	角違林道側は農林水産省、小川目林道側は下北森林組合の管轄であることから、了承を得たうえで、看板を設置する予定。
30		携帯電話の電波がないため、市から働きかけてほしい	企画調整課が docomo と au に連絡し、今後調査が入ることとなった旨を説明。 (ソフトバンクは電波がある。)	

第 14 回	31	栗山町内会	<p>むつ中学校と幹線道路を繋ぐ迂回路を作ってほしい</p>	<p>むつ中学校前の市道栗山線ですが、最小幅員約6メートル、最大幅員約7.3メートルとなっております。冬期間の生徒の登下校には、十分な幅員ではないことは重々承知しておりますが、迂回路整備には用地取得及び多額の事業費を要することから、冬期間の歩行空間確保においては、道路幅員を広げる拡幅除雪等で対応したいと考えております。お手数をおかけしますが歩行空間がなく危険と感じた場合には、市土木維持課まで御連絡をお願いいたします。なお、拡幅除雪については、早朝除雪とは異なる作業準備が必要となるため、作業までに時間を要する場合がありますので御了承ください。また、当課にて小型除雪機の貸出を行っておりますことから、活用について御検討ください。</p>
	32	栗山町内会	<p>栗山トンネルの側道の除雪が遅いので改善してほしい</p>	<p>当該路線につきましては青森県との協議により、御指摘の区間は当市にて対応しております。</p> <p>除雪の出動基準といたしましては、降雪量が10cm以上、または10cm未満でも市内パトロール及び気象情報等により除雪が続くと予想される場合、地吹雪等で交通に支障を及ぼす恐れがある場合に出勤とし、降雪や路面の状況に応じて市街地の道路除雪を行うほか、交通量の多い主要な路線を市道幹線に指定し、国県道との兼ね合いを図りながら作業を実施しておりますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
	33	栗山町内会	<p>老朽化した防火水路を直してもらいたい</p>	<p>対応はこれから</p>

第 15 回	34	住吉町内会	あけぼの公園の草刈り及び排雪について	<p>都市公園の草刈りにつきましては、春の草が伸びる5月中旬、夏の草が伸び夏休みを迎える前の7月下旬、秋の草が伸びる9～10月を目処に年3回実施しておりますので、御理解を賜りますようお願いいたします。</p> <p>排雪につきましては、一般の方向けに開放している真砂町と桜木町の雪捨て場を御利用いただくように周知を徹底してまいりますので、御理解を賜りますようお願いいたします。</p>
	35		融雪剤の配達について	<p>冬季における融雪剤の配布につきましては、原則として町内会及び個人の方への配達は御遠慮させていただいております。</p> <p>御来庁いただいたうえでの融雪剤の受け渡しについては引き続き対応致しますので、運搬については、恐れ入りますが町内会にてお取り計らいください。</p>
	36		街路灯を設置してほしい	<p>御要望のありました街路灯の設置につきましては、現地を確認したところ設置の必要性が認められますことから、今後設置に向けて検討及び調整を行いたいと存じますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
	37		冠水対策をしてほしい	<p>当該地区の冠水につきましては、お住いの地区自体が周辺より地盤が低いことや、流末である田名部川増水に伴う排水量の低下等、様々な要因が考えられますが、今後につきましては、冠水発生メカニズムについて調査を行い、対策について検討して参りたいと考えておりますので御理解賜りたいと存じます。</p>

<p>第 15 回</p>	<p>38</p>	<p>住吉町町内会</p>	<p>カーブミラーと一時停止標識を設置してほしい</p>	<p>御要望のありました田名部高校裏側のカーブ及び交差点のカーブミラー及び一時停止標識の設置につきまして、10月5日に現地調査をいたしました。</p> <p>・海老川地区遊園地（あけぼの公園）付近の丁字路</p> <p>一時停止標識につきましては、現在、丁字路より15m南側に設置されており、所管のおつ警察署へ確認したところ、当時は丁字路付近に設置可能な場所がなかったため、現在の位置に設置したとのことです。要望についてはおつ警察署へ共有しましたので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>カーブミラーにつきましては、過去に設置要望があった際に設置希望場所の地権者の承諾が得られず、丁字路より15m東側にある電柱に平成30年度に設置しております。新たな設置については、適した場所がないことから現時点では見送らせていただきます。</p> <p>・田名部高校第一体育館付近のカーブ塀や庭木等により車両等を視認しにくいことが確認できたため、カーブミラーの必要性は認められましたが、設置につきましては、市内各地からの多くの要望に対し、交通量や危険性、迂回路等を考慮して優先度を決め、限られた予算の中で順次設置している状況です。そのため設置の時期については御回答できかねますが、できるだけ早期に対応できるよう取り組んでまいりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>
---------------	-----------	---------------	------------------------------	---

第 15 回	39	栄町町内会	街灯を設置してほしい	御要望のありました街路灯の設置につきましては、児童生徒の通学路となっており、設置の必要性が認められますことから、街路灯未添架の電柱への設置に向けた検討及び調整を行いたいと存じますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。
第 18 回	40	斗南岡町内会	旧斗南藩士の墓に水道をつけてほしい	<p>当該墓地につきましては、戊辰戦争の末に当地域に移り住み、寒冷不毛の地を開拓した旧会津藩の方々が眠る、非常に重要な史跡のひとつと認識しております。</p> <p>しかしながら、ご要望の水道設置につきましては、墓地周辺の水道需要の状況から市の水道管が近くに敷設されておらず、新たに水道管を敷設するためには多額の工事費用を要することとなり、現状では難しいものと考えております。</p> <p>市としましては、付近の水道需要の変化を注視しつつ対応して参りたいと考えておりますので、お墓参りの際にはお手数でも水を持参していただくなど、ご理解とご協力を賜りたいと存じます。</p>
	41	最花町内会	U字溝の整備をしてほしい	翌年度（令和6年度）作業着手となる見込みだと町内会長に電話で回答。

第 18 回	42	最花町内会	アスファルト舗装と側溝整備をお願いしたい	<p>御要望いただきました道路につきましては、交通量が多い状況になく、利用者も限定されることから、早急な整備が必要なものという位置付けとはなっておりません。また、現地状況から察すると、道路整備を実施しても道路高自体は現状とあまり変わらず、宅地内の排水環境の改善は見込めないものと思慮されます。</p> <p>住民の皆様には御不便をおかけしますが、引き続き維持管理に努めて参りますので御理解を賜りたいと存じます。また、御要望の道路は私道等整備補助金での対応が可能と推察されますので、活用を御検討いただきますようお願いいたします。</p>
	43		木の立枯について	<p>御要望のありました枯れ木は県道沿いの法面から生えておりますことから、県道を管理する下北地域県民局へ情報提供しましたところ、担当部署において伐採方法や業者選定について検討中であるとの回答がございました。</p>
第 20 回	44	孫次郎間町内会	カーブミラーを設置してもらいたい	<p>御要望のありました孫次郎間地区のカーブミラーの設置につきまして、過去にも同様の要望があり、令和3年11月5日に現地調査を行い、カーブにより車両等を視認しにくいことを確認しております。</p> <p>カーブミラーの必要性は認められましたが、設置につきましては、市内各地からの多くの要望に対し、交通量や危険性等を考慮して優先度を決め、限られた予算の中で順次設置している状況です。そのため設置の時期については御回答できかねますが、できるだけ早期に対応できるよう取り組んでまいりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>

第 20 回	45	孫次郎間 町内会	むつ市大畑中央公園の入り口をわかりやすくしてほしい	現在、大畑中央公園入口の反対車線上側に看板があるが、見えづらいかもしれないので、既設の大きい掲示板の上に大畑中央公園とわかるような看板の新設を考えております。
	46		バイパスから旧道に至る交差点付近に目印をつけてほしい	御要望につきまして、当該道路を管理する下北地域県民局へ問い合わせましたが、今後、特に看板等の設置予定はないとのことでした。
	47		斜面の草刈りを実施してほしい	御要望箇所の草刈りについてですが、市道に隣接する範囲については、市で現場確認の後、必要に応じて草刈りを手配いたします。 また、市道以外の要望箇所については、国及び県が所管する土地が含まれていることから、関係機関に対し要望してまいりたいと存じますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。
	48		神社の看板を直してほしい	立て直すかどうかも含めまして、大畑地区のみならず、他の地区も含めてとりくまなければならない問題だと認識しておりますことから、件数も多いと推測されますので、現状を把握してまいりたいと考えております。
	49		漂流物を片付けてほしい	対応はこれから

第 21 回	50	中島町内会	市営住宅外山団地について	<p>市営住宅の整備等については「おつ市公営住宅等長寿命化計画」により行っております。</p> <p>同計画は国の策定指針に基づき、社会資本ストックの長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減につながることを目的として、各地域の人口動態や、民間住宅の供給状況、公営住宅の需要など様々な要因により、各団地の整備計画を定めておりますが、令和4年3月に改定された現行計画において、外山団地については当面維持管理に努めることとなり、現時点での建替等の計画はございません。将来的に建替等が必要になった場合は、立地も含め、防災や入居者の利便性、事業の経済性など様々な観点から検討して参りたいと考えておりますので、御理解を賜りたいと存じます。</p>
--------	----	-------	--------------	--

第 21 回	51	中島町内会	<p>児童館を町内会に寄贈してもらえるものか教えてほしい</p>	<p>大畑地区にあります3つの児童館は、令和元年度に廃止され、現在は普通財産として管理しております。</p> <p>旧湯坂下児童館については、市有財産利活用民間提案制度の対象施設としております。この制度は、市が未利用となっている施設等について、市民や民間事業者等から利活用の提案を募集し、事業化するものです。</p> <p>施設等については、提案の内容に応じて貸付、売却することとなりますが、無償譲渡する場合には、公共性が高い事業であることや、資産価値が非常に低いといったことが要件になると考えています。</p> <p>また、無償譲渡の相手方が町内会となる場合には、認可地縁団体の認可を受けるとことや、将来的に施設等を維持管理することが可能かを検討する必要があります。</p> <p>旧中島児童館については、現在のところ、処分する施設に位置付けておりませんが、短期的な貸付は可能と考えております。</p>
第 23 回	52	川守町町内会	<p>川沿いの木を伐採してほしい</p>	<p>御要望につきまして現場を確認しましたが、川沿いの斜面は神社境内地に含まれておりますことから、伐採につきましては境内地の所有者へお問い合わせください。</p>
	53		<p>分譲地にロードヒーティングを入れてほしい</p>	<p>御要望いただきましたロードヒーティングですが、整備に多額の費用を要することから、当市の財政状況を鑑みると整備が難しい状況です。</p>

第 23 回	54	川守町町内会	<p>老人憩の家福寿荘前の道路にロードヒーティングを入れてほしい</p>	<p>御要望いただいた道路につきましては、冬期間においては、凍結防止のための融雪剤の設置・散布のほか、市の除雪に加え、老人憩の家福寿荘職員による除雪を行うなど、関係課で連携を取りながら安全対策に努めているところです。</p> <p>一方で、当該道路は生活通路として、また、老人憩の家福寿荘への通路として多くの方々に利用されており、更には、緊急避難場所に指定しております川守児童公園や、避難所に指定しております老人憩の家福寿荘と国道338号線を結ぶ避難道路でもあり、融雪設備の必要性は高いものと認識しておりますことから、今後、財政状況を考慮した上で、融雪設備をはじめとした、より効果的な除雪対策について検討してまいりたいと考えておりますので、御理解を賜りますようお願いいたします。</p>
	55		<p>開通予定の道路の見通しを教えてください</p>	<p>大湊Ⅱ期バイパスの進捗状況について、大湊地区町内会長へ文書を送付した。</p>
	56		<p>草刈りと除雪をお願いしたい</p>	<p>御要望のありました国道338号沿いの草刈りににつきまして、道路沿いの市有地に関しましては当市において植栽管理を行い、それ以外の箇所につきましては引き続き道路管理者であります青森県（下北地域県民局）へ情報提供を行って参ります。</p> <p>また除雪につきまして、道路除雪は青森県で行われておりますが、当市でも町内会様向けに除雪機の貸し出しを行っておりますので、歩道部分の除雪について適宜御利用を御検討くだされば幸いです。</p>

第 25 回	57	宇田町町内会	融雪溝について	御要望のありました国道338号沿いの融雪側の蓋についてですが、道路管理者である青森県へ情報提供しましたところ、対策については担当部署にて検討中であるとの回答がありました。
	58		スキー場の看板について	スキー場への案内看板が分かりづらくご迷惑をおかけしておりますこと、大変申し訳ございません。 来年度（令和6年度）撤去に向け具体的な計画を策定しているところでございますので、今しばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。
	59		道路の舗装について	御要望のありました国道338号の舗装補修についてですが、道路管理者である青森県へ打診しましたところ、担当部署にて交通事情を鑑み対策を検討中であるとの回答がありました。
第 26 回	60	町内会長 (宇田町)	防災無線について	対応はこれから

第 26 回	61	町内会長 (田野沢)	川内の野球施設について	<p>川内小中学校グラウンドの水はけについてですが、一般的にグラウンドを整備してからある程度の年数が経過すると、土質の変化等で地中への浸透力が低下したり、暗渠（排水設備）の目詰まりにより排水能力が低下したりし、水たまりがしやすい状況になります。</p> <p>根本的な解消には土や暗渠の入替などが考えられますが、このような方法は非常に高額な費用がかかるだけでなく、工事期間が長くなり、長期間グラウンドが使用できないなど学校生活への影響も大きくなります。</p> <p>来年度（令和6年度）以降、学校生活への影響とコストを抑えつつ改善を図れるよう、調査を進めながら、表面の敷均しや土壌改良など様々な方法を検討して参りたいと存じます。</p>
第 28 回	62	苫生町町内会	トイレの設置について	<p>御要望のありました公衆トイレの設置について、新田名部川の管理は青森県が行っておりますことから、青森県へ確認したところ検討するとのことでした。</p> <p>今後も当課より要望し設置を働きかけたいと存じますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
	63		バラスを入れてほしい	<p>当該箇所の砂利道の現状については当課としても把握しており、私道となっております事から所有者の方にて管理をしていただく路線となっております。</p> <p>当課での維持管理につきましては対応出来かねますが、除雪作業にて砂利が削られた路線について雪解け後に砂利敷き及び整正を行います。また、私道等の支援として、原材料支給（砂利等）を行っておりますので、活用を御検討ください。</p>

第 28 回	64	苦生町町内会	街路灯を設置してほしい	御要望のありました街路灯の設置につきましては、現地を確認したところ設置の必要性が認められますことから、今後設置に向けて検討及び調整を行いたいと存じますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。
	65		道路を通してほしい	<p>御要望いただきました道路整備ですが、市で行う新規の道路整備につきましては、利用者数、利便性の調査を行い事業を選定する必要があります。</p> <p>苦生町二丁目地区から主要道路である国道 279 号へアクセスする道路としては北斗タクシーの事務所方面へ抜けるルートとローソン苦生町店方面へ抜ける道路が既に整備されており、一帯の住宅数などを勘案すると、新規道路の整備費用に対して利用者数の観点から、費用対効果を得ることは難しく、新規での道路整備は難しいと考えております。</p> <p>なお、FLAT 内で御相談のありました進入口が暗い道に関しましては、関係機関と調整を行い照明設置に向けて事務を行って参ります。</p> <p>しかしながら、当該道路はもとの形態が農道だったことから、車両のすれ違いを考慮された幅員ではないため、別の市道を御利用頂きますよう御理解と御協力をお願い申し上げます。</p>
第 29 回	66	海老川町 青葉会	横断歩道の追加若しくは移動	御要望のありましたファミリーマートさとう本店前への横断歩道の設置、または田名部高等学校側横断歩道の店舗前への移動要望につきまして、2月28日に所管のおつ警察署へ共有しましたので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。

第 29 回	67	海老川町 青葉会	水道を延長してほしい	<p>本件につきまして、昨年度、同じ内容で古川町内会より御相談されたときにも触れましたが、配水本管を新設した場合に、すでに水道を利用している方や新たに利用いただける方が、自費で給水管の接続に応じてくれることが必要となります。町内会より地域住民へ現在の給水管の状況を説明いただき、給水管の接続可能件数を調査のうえ、改めて相談、要望されるとの内容であったと思います。</p> <p>上水道事業は、水道管の布設、施設の維持管理などの費用を、利用者の皆さんからの水道料金収入により賄っている公営企業です。地域住民の総意として要望された場合、将来的な給水世帯や需要水量、水道料金収入などの諸条件に基づき、公営企業経営の観点から水道本管の布設を検討してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
	68		道路を削ってほしい	<p>当該道路の整正についてですが、令和6年度春に作業予定となっております。</p> <p>御要望に沿えるよう作業したいと考えておりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>

第 30 回	69	銀杏木地区会	第二川内小学校の解体について	<p>御意見を頂戴しました、第二川内小学校についてですが、教育委員会でも同校の現状については承知しており、年に数回程度、現地確認を行っております。</p> <p>建物の状況を鑑みると、御要望のあったとおり、解体が望ましいことはこちらでも同様の認識を持っているところであり、市で保有している廃施設のなかでも、安全面から解体の優先度は上位にあるものと思料されます。</p> <p>一方で、施設規模や現況から、解体には億単位の経費が発生すると見込まれており、他事業との兼ね合いや、市の財政状況からなかなか着手できていないのが現状でございます。</p> <p>今後も状況把握に努めながら、解体に向けた検討を続けて参りますので、引き続き教育行政への御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p>
--------	----	--------	----------------	---

第 30 回	70	銀杏木地区会	融雪溝の改修について	<p>御要望のありました銀杏木地区の流雪溝は昭和62年に供用が開始され、30有余年が経過し老朽化しております。</p> <p>現在の市の方針としましては、不具合箇所について、補修を行い機能維持を図っていくこととしております。</p> <p>ゴミや土砂の詰まりにつきましては、川からの取水時や道路からの碎石等の混入が考えられます。長い延長を有する流雪溝のため、堆積した土砂について全面的な撤去は困難ですが、土砂堆積するところなどは、撤去し機能改善を図りたいと考えております。</p> <p>このほか、水路への落葉、不用意に入り込んだ木の根等の要因が考えられますが、日常の管理につきましては、流雪溝組合の主体的な関与が不可欠でありますので、引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
第 31 回	71	新女館町内・ 女館高台町内会	側溝の整備をしてほしい	<p>御要望のありました側溝の整備につきまして、雪解け後に当課にて現場確認を行い対応を検討させていただきます。</p> <p>今後とも、日々のパトロールと維持管理に努めて参りますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。</p>

第 31 回	72	新女館町内・ 女館高台町内会	通学路の除排雪について	<p>御要望のありました国道 279 号の歩道除雪につきまして、道路管理者である青森県に確認したところ、交通量が多い路線については、特例的に青森県で実施しておりますが、それ以外の路線につきましては、町内会等沿線住民の方へ除雪機を貸し出し、官民連携で実施させていただいておりますとの事でした。</p> <p>こちらの制度につきましては、むつ市で窓口を行っておりますので、御活用のご検討をいただきますようお願い申し上げます。</p>
	73		歩道を作ってほしい	<p>御要望のありました歩道設置につきまして、道路管理者である青森県へ要望致しましたので、御理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
第 32 回	74	新町町内会	横断歩道か信号の設置を要望	<p>御要望のありました熊野神社近くの十字路交差点への横断歩道または信号機の設置につきまして、3月18日に所管のむつ警察署へ共有しましたので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>
	75		街路灯の設置を要望	<p>街路灯の設置につきまして、当課にて現地確認したところ、沿線に住家等がなく電柱等の設置も無い為、街路灯に必要な電源の確保ができず、現状設置は困難となっております。</p> <p>今後、宅地化が進み家屋が増える等、状況の変化を鑑み検討して参りたいと考えておりますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。</p>

第 32 回	76	新町町内会	<p>道路に砂利を撒いてほしい</p>	<p>当該箇所については私道となっておりますことから、土地所有者や沿線住民の方々等において管理をしていただく路線であると認識しております。</p> <p>市民の皆様への支援策として、除雪作業で砂利道が削られた路線については雪解け後に砂利敷き及び整正を行っておりますが、アスファルト舗装道路の穴につきましては、町内会等からの要望に応じて砂利やアスファルト補修材の支給で対応させて頂いておりますので、御利用の際は御相談頂ければと思います。</p> <p>なお、規模の大きい道路補修等の支援策と致しましては、約9割補助となる「むつ市私道等整備補助金」の制度もございますので、御活用を御検討くださいますようお願い申し上げます。</p>
	77	新町町内会	<p>融雪溝の蓋に取っ手が付いてない</p>	<p>御要望のありました融雪溝ですが、県道4号・むつ恐山公園大畑線に設置されている側溝のことと思われるので、道路管理者である青森県へ確認しましたところ、当該路線の側溝は、本来融雪溝としての機能を有していないことから、取手のついた側溝蓋の設置は検討していないとのことでした。</p> <p>なお、住民の方が自費での設置を御検討される場合は、工事手続き等の御相談を頂ければ対応致しますとのことでしたので、今後の対応につきましては青森県（下北地域県民局地域整備部）へお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。</p>

第 34 回	78	中央町内会	道路に土砂を撒いてほしい	御要望のありました箇所につきましては、除雪終了後の砂利道補修の対象となっており、現在手配を行っておりますので、作業終了までの期間につきましては徐行などの安全運転に御理解と御協力をお願い申し上げます。
第 35 回	79	松山町内会	側溝について	御要望のありました箇所につきましては、当課としても改善が必要と判断しており、令和 6 年度の事業実施に向け準備を進めて参りましたが、他事業との兼ね合いから予算の確保ができず今年度の実施はできませんが、次年度以降の実施に向け予算確保に努めて参りたいと考えておりますので御理解を賜りたいと存じます。
	80		街灯を設置してほしい	街路灯の設置につきまして、当課にて現地確認したところ、既存の街路灯の光が第二田名部小学校の植栽により妨げられている状況でありました。 このことについておつ市教育委員会と協議したところ、小学校の植栽整理を行うとの回答がございましたので、街路灯の追加設置につきましてはその結果を鑑み検討して参りたいと考えておりますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。
	81		私道について	私道は個人の所有物であり、その所有は個人の意思によるものと認識しておりますことから、当市から寄附を呼びかけることは行っておりません。 御要望に添えず、大変申し訳ございませんが、何卒御理解賜りますようお願い申し上げます。